

天溪 「花のスイス・アルプスハイキング 9日間」

<6月21日発>

天溪の夏ツアーの始まり「花のスイス・アルプスハイキング 9日間」を6月20日～6月28日、6月28日～7月6日の2回 続けて行いました。6月20日と言えば台風4号が2004年以来8年ぶり、観測史上7番目の早さで本土に上陸し、弱まったとは言え980h pの勢力を保ちながら未明の関東平野を横断した日。よりによって出発日にビンゴ！ 未明の不安は過ぎ去り、台風一過の吹き返しも心地よく我が飛行機は定刻通りヨーロッパへ向け出発しました。



(スイス内国最高峰のドーム 4545m 6月25日)

○グリンデルワルド

今年のスイスアルプスは総じて残雪が多く、私見ですがこの時期としてはこの10年で1、2位の多さ。しかし、最近迄寒かったせいか高山植物が一斉に咲き何時になく濃密なアネモネ、翁草、ゲンチアナ、アルペンローゼ、キンポウゲの花等を見ることが出来ました。



(フィルスト 6月21日)



○ユングフラウヨッホ・メンリッヘン

ユングフラウヨッホに登山電車で登り、アレッチ氷河のほんの一部に足跡を残してきました。このユングフラウ登山鉄道は今年開業 100 周年。アイガーのド真ん中にトンネルを掘って観光客を呼ぶなんてトンネル掘削もさることながらその発想に驚愕です。翌日はメンリッヘンからアルピグレンへ下りました。正面にアイガー北壁を仰ぎ見る静かな素晴らしいコースです。通った方しか分かりませんが余りに高い北壁を見過ぎて首筋を痛めた方がいたのでは??



(メンヒ 4107m 6月22日)



○サースフェー

この村は 2010 年サッカーワールドカップ時に日本代表が高地トレーニングをした地。夏季は氷河スキーやアラリンホルン登山、また野生のマーモットに餌付けができる静かで落ち着いた村です。当日は数日前に降った雨のせいかマーモットが甲羅干しならぬ毛皮干しをしていたために餌づけは大成功。

PS：下段左の列車の写真は世界でも珍しいカートレインを写したもの。我々の乗ったバスを載せ電車はトンネルに向け出発進行。まだまだここは旅の趣が残っています。



(サースフェー 6月24日)



○ツェルマット

今年のアルプスは予報が良くても曇りやガスの発生が有り天気予報とずれる事がしばしば。皆様お待ちかねのマッターホルンは夕食後の午後9:00 ごろ漸く南壁のガスが取れ丸見えに、一寸遅かった！ 翌日は北壁の下に続くマッターホルントレイルをハイキング。午後から、登山電車でゴルナグラードへ登り、アルプス第2位の高峰モンテローザ(4634m) はじめ連山から押し出される氷河を見ながらリップフェルベルグへ向け仕上げのハイキング。夏至のアルプスを堪能しました。



(マッターホルン北壁 6月25日)



○シャモニ

エギュードミデは雲に包まれ視界なく、それでも記念に登ろうとすれば「快晴の明日にしろ」と関係者。とは言え明日は帰国日なので無理を承知で目的地へ。残念ながらモンブランは雲の中で写真は有りません。翌朝は雲一つない憎らしい程の快晴モンブランに見送られジュネーブへ向かいました。

次回は6月28日発「花のスイス・アルプスハイキング9日間」の様子をお伝えします。

記 天溪 赤沼(敏)